



日本植物誌（長崎歴史文化博物館蔵）

約200年前、 紫陽花に魅せられた、 ドイツ人医師がいました。

それはシーボルトです。
長崎のあちこちに自生している紫陽花（あじさい）に興味をもった彼には、
植物学者としての一面も。「日本植物誌」という見事な細密画集を残しています。
いま人気のボタニカルアートのお手本のような描写。
いや、それにもまして、この紫陽花には、シーボルトの愛妻の名“おたきさん”をモチーフにした
“おたくさ”（Hydrangea Otakusa）という学名をつけました。
長崎市の花は、紫陽花です。
そこには、200年前からの愛の歴史が刻まれています。

長崎市の花 紫陽花

長崎で、会いましょう。

